

令和 7 年度

「運営に関する計画」

大阪市立中津小学校

令和 7 年 4 月

1 学校運営の中期目標

現状と課題

【安全・安心な教育の推進】

大阪市教育振興基本計画（以下＝計画）を踏まえた【安全・安心な教育環境の実現】、【豊かな心の育成】での中期目標である「規範意識」「生命の尊重」「仲間づくり」について、いずれも目標を達成した。また、令和6年度全市共通目標である「いじめの解消」「規範意識」「暴力行為」「不登校」について、いずれも目標を達成した。

それらの目標達成の主因は、子どもの自己肯定感の高まりを重視した「チーム中津」として地域・教職員それぞれの持ち味を生かして教育活動を行ってきた成果と言える。

自己肯定感は、子どもが達成感と所属感を繰り返し味わうことで高まるととらえ、その共通理解のもと、互いの頑張りやよさを認め合う活動、自分の思いをよりよく伝える方法を考える活動などを工夫し、継続して取り組んだ。また、生活指導、いじめ対策の定期的な会合においても自己肯定感に関連した情報共有を行い、全教職員による指導を継続した。それらの結果、互いを支え認め合える集団が育てることができた。

自己肯定感の高まりを重視し、互いを支え認め合える集団の育成を継続していくことが、安心・安全な教育を推進する要諦と考えている。

【未来を切り拓く学力・体力の向上】

計画を踏まえた【誰一人取り残さない学力の向上】、【健やかな体の育成】での中期目標である「わかる楽しさを味わえる授業」「深め広げる話し合い活動」「生活習慣」「運動志向」について、いずれも目標を達成した。令和6年度全市共通目標である経年調査における相対的な数値については目標達成できなかったが、課題とした運動は記録を更新できた。

それら目標達成の主因は、子どもの主体性を重視した指導の成果と言える。令和6年度では、子どもの実態を踏まえた授業改善を推進するために、ICTを効果的に活用した指導法の研究、一人一授業（全教員が公開授業を実施）の取り組み等を行った。また、子どもの保健指導、給食指導、体育指導等に注力し、子どもの健康に対する意識を高めた。それらの結果、子どもの学力向上への意欲を高め、健康に関する基本的な生活習慣、体力を向上させることができた。

子どもの学力向上に向けて主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善と、健康に関する意識を高める保健指導、給食指導、体育指導等の継続と工夫が課題である。

【学びを支える教育環境の充実】

ICTの活用について、本校では大阪市の方針に基づき段階的に導入し、その有効活用を図ってきている。令和2年度には、全学級において大型モニターを使用したデジタル教材の活用ができた。令和3年度には一人一台の学習者用端末の導入を円滑に推進した。同年1月には、子どもが毎日学習者用端末・タブレットを持ち帰るシステムを構築し、授業と家庭学習で活用できるようにした。今後も、ICTの活用に積極的に取り組み、子どもの学習を充実させることが課題である。

令和3年度より学校協議会において、保護者や教職員にとって過度な負担がなく、それぞれが健康であることが「子どもにとってよりよい環境」ということについて了解を得られた。教職員の働き方改革とともに保護者の負担軽減という視点で、学校行事を中心に教育活動を見直し始めている。この見直しを継続し、保護者、教職員に過度な負担のないように教育活動を工夫し実践していくことが課題である。

中期目標

【安全・安心な教育の推進】

- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査及び校内調査の「学校に行くのは楽しいと思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 90%以上にする。
(R 4 学力調査 94.9%、校内調査 92%) (R 6 学力調査 76.1%、校内調査 90%)
- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査及び校内調査の「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 80%以上にする。
(R 4 学力調査 84.5%、校内調査 84%) (R 6 学力調査 95.7%、校内調査 87%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上(1)】

- 令和 7 年度の全国学力・学習状況調査の平均正答率 5 割以下の児童を、令和 4 年度より 5 ポイント減少させる。
(R4 学力調査 5 割以下 国語 11/57 算数 11/57)
(R6 学力調査 5 割以下 国語 9/43 算数 6/43)
- 令和 7 年度の小学校経年調査及び校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりすることができている」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。
(R4 経年調査 33.7%、校内調査 90.0%)
(R 6 経年調査 81.0%、校内調査 94.0%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上(2)】

- 令和 7 年度の全国体力・運動能力、運動習慣等調査及び校内調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的に答える児童の割合を 83%以上にする。
(R4 全運調査男子 84.4%女子 79.0% 校内調査（男女）86%)
(R6 全運調査男子 93.4%女子 88.0% 校内調査（男女）92%)
- 規則正しい生活を身に付けている児童の割合（全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合及び校内調査（保護者）を令和 7 年度調査において 90%以上にする。
(R4 学力調査 朝食 96.6% 就寝 75.1%、起床 96.6%) R4～5 校内調査（保護者―）
(R6 学力調査 朝食 95.7% 就寝 87%、起床 93.5%) R 7 校内調査（保護者）新設

【学びを支える教育環境の充実】

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。
- ゆとりの日を週 1 回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は 5 日以上、冬季休業期間中は 3 日以上設定する。
- 令和 7 年度末の校内調査において、「読書は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。
(R4 81% R 6 86%)

3 本年度の自己評価結果の総括

--

2 中期目標の達成に向けた年度目標（全市共通目標を含む）

【安全・安心な教育の推進】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を 90%以上にする。
(R4 経年調査 78%) (R6 経年調査 86%)
- 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。
(R6 (5-2) / 3 1.7%)

学校の年度目標

- ① 校内調査（児童）の「学校に行くのは楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 91%以上にする。
(R6 校内調査 90%)
- ② 校内調査（児童）の「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 88%以上にする。
(R6 校内調査 87%)

未来を切り拓く学力・体力の向上(1)

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- 小学校経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりすることができている」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 60%以上にする。
(R4 経年調査 33.7%) (R6 経年調査 81%)
- 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 1 ポイント向上させる。
(R4 経年全国比国語 3 年 104.8 4 年 101.5 5 年 102.7)
(算数 3 年 104.2 4 年 105.1 5 年 102.7)
(R6 経年全国比国語 3 年 106 4 年 102.3 5 年 106.2 6 年 104.3)
(算数 3 年 106.5 4 年 100.7 5 年 103.8 6 年 106.2)
- 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
(R4 経年調査 84.4%) (R6 経年調査 84.4%)

学校の年度目標

- ① 校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりすることができている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 94%以上を維持にする。
(R4 校内調査 90%) (R6 校内調査 94%)
- ② 本年度の校内調査（児童）の「楽しんで勉強している」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上を維持する。
(R4 校内調査 84%) (R6 校内調査 85%)

【未来を切り拓く学力・体力の向上(2)】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- 本年度の小学校学力経年調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的に答える児童の割合を 83%以上にする。
(R4 全運調査男子 84.4%女子 79.0% 校内調査（男女） 86%)
(R6 全運調査男子 93.4%女子 88.0% 校内調査（男女） 92%)
- 規則正しい生活を身に付けている児童の割合（全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合及び校内調査（保護者）を令和 7 年度調査において 90%以上にする。
(R4 学力調査 朝食 96.6% 就寝 75.1%、起床 96.6%) R4～5 校内調査（保護者―）
(R6 学力調査 朝食 95.7% 就寝 87%、起床 93.5%) R 7 校内調査（保護者）新設)

学校の年度目標

- ① 本年度の校内調査（保護者）の「家庭では早寝 早起き 朝ごはんの習慣が身につくように努めている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を 90%以上にする。
(R 7 校内調査（保護者）新設)
- ② 本年度の校内調査（児童）の「手洗い・うがいをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 85%以上にする。
(R 7 校内調査（保護者）新設)
- ③ 本年度の校内調査（児童）の「苦手なものでも食べるようにしている」に対して、肯定的に回答
する児童の割合を 85%以上にする。
(R 7 校内調査（保護者）新設)

【学びを支える教育環境の充実】

大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標

- 授業日において、児童の 8 割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の 50%以上にする。
- ゆとりの日を週 1 回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は 5 日以上、冬季休業期間中は 3 日以上設定する。

学校の年度目標

- ① 令和 7 年度末の校内調査において、「読書がすき」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 87%以上にする。
(R4 81% R 6 86%)

大阪市立中津小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組まず目標も達成できなかった

【安全・安心な教育の推進】 年度目標	達成 状況
<p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」に対して、最も肯定的な「思う」と回答する児童の割合を <u>90%以上</u>にする。 (R4 経年調査 78%) (R6 経年調査 86%)</p> <p>○ 年度末の校内調査において、前年度不登校児童の改善の割合を増加させる。 (R6 (5-2) / 3 1.7%)</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 本年度の校内調査（児童）の「学校に行くのは楽しい」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>91%以上</u>にする。 (R6 校内調査 90%)</p> <p>② 本年度の校内調査（児童）の「自分にはよいところがあると思いますか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>88%以上</u>にする。 (R6 校内調査 87%)</p>	
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標	進 捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】</p> <p>いじめや暴力行為・不登校傾向が見られる児童の実態を把握し、学校内外の連携をしながら、課題解決に向けた取り組みを進める。</p> <p>指標 ・月に1回以上児童理解全体会を開き、全教職員で児童の実態や生活面に関する共通理解・意見交換をする場をもつ。また、必要に応じて生活指導部会及びいじめ対策委員会を開き様々な手段を講じて取り組みを進める。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向1 安心・安全な教育環境の実現】</p> <p>安全に関する訓練・指導を継続したり、校内の安全点検を定期的実施したりする。</p> <p>指標 ・安全に関する訓練や指導を年3回以上、安全点検を月1回行い、安全で安心できる教育環境を整える。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>一人一人の児童が力を発揮し、その良さを認め合える集団づくりをめざす。</p> <p>指標 ・学級目標の実現に向け児童が学校生活において力を発揮している様子をクラスに伝えて互いの良さに気づき認め合う機会を、週に2回以上もつ。</p> <p>・年度末の校内調査（教職員）における、「学校行事、クラブ活動、委員会活動、学級活動の年間指導時間の中で主体的・対話的で深い学びの実現に向けた時間の割合」について50%以上になるようにする。（校内調査）</p> <p>・年度末の校内調査（児童）における「友だちのがんばりやよさを見つけることができた」に対して、肯定的に答える児童の割合を80%以上にする。（校内調査）</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向2 豊かな心の育成】</p> <p>インクルーシブ教育推進のために、個別の支援・指導計画を作成し、活用を図りつつ、誰もが安心して過ごせる学級や授業づくり、学習・生活環境整備に取り組む。</p> <p>指標 ・学期に1回個別の教育支援計画や個別の指導計画を更新し、実践する。</p> <p>・学期に1回以上特別支援教育推進委員会等を実施し、児童の実態にあった支援や指導に生かす。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

大阪市立中津小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【未来を切り拓く学力・体力の向上(1)】	年度目標	達成 状況
<p>大阪市教育局振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標</p> <p>○ 小学校経年調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりすることができている」に対して、最も肯定的に回答する児童の割合を 60% 以上にする。 (R4 経年調査 33.7%) (R6 経年調査 81%)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における国語および算数の平均正答率の対全国比を、同一母集団において経年的に比較し、いずれの学年も前年度より 0.03 ポイント向上させる。 (R4 経年全国比国語 3 年 104.8 4 年 101.5 5 年 102.7) (算数 3 年 104.2 4 年 105.1 5 年 102.7) (R6 経年全国比国語 3 年 106 4 年 102.3 5 年 106.2 6 年 104.3) (算数 3 年 106.5 4 年 100.7 5 年 103.8 6 年 106.2)</p> <p>○ 小学校学力経年調査における「理科の勉強は好きですか」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>85%以上</u>にする。 (R4 経年調査 84.4%) (R6 経年調査 84.4%)</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 校内調査の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりすることができている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>94%以上</u>を維持する。 (R4 校内調査 90%) (R6 校内調査 94%)</p> <p>② 本年度の校内調査（児童）の「楽しんで勉強している」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>85%以上</u>を維持する。 (R4 校内調査 84%) (R6 校内調査 85%)</p>		
年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標		進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>主体的・対話的で深い学びにつながる ICT の効果的な活用方法を研修し、全教育活動で実践する。</p> <hr/> <p>指標 ・学校全体で主体的、対話的で深い学びに向けた研修を進める。 各教科による指導案検討会 6 回、研究授業（討議会含む）6 回、 一人一授業実施率 90%以上</p>		
<p>取組内容②【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>全教育活動で、自分の考えを深めたり広げたりする話し合い活動を意図的に取り入れる。</p> <hr/> <p>指標 ・本年度の校内調査（児童）の「学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり広めたりすることができている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を 94%以上を維持する。 (R6 校内調査 94%)</p>		
<p>取組内容③【基本的な方向 4 誰一人取り残さない学力の向上】</p> <p>学級担任、各学年付担当、支援学級担任、通級担当、サポーターが連携して、一人ひとりに応じた指導を最大限実施する。</p> <hr/> <p>指標 ・本年度の校内調査（児童）の「楽しんで勉強をしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>85%以上</u>を維持する。 (R6 校内調査 85%)</p>		

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

大阪市立中津小学校 令和 7 年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【未来を切り拓く学力・体力の向上(2)】 年度目標	達成 状況
<p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標</p> <p>○本年度の小学校学力経年調査の「運動（体を動かす遊びを含む）やスポーツをすることが好きですか」に対して、最も肯定的に答える児童の割合を <u>83%以上</u>にする。 (R4 全運調査男子 84.4%女子 79.0% 校内調査（男女）86%） (R6 全運調査男子 93.4%女子 88.0% 校内調査（男女）92%）</p> <p>○ 規則正しい生活を身に付けている児童の割合（全国学力・学習状況調査の「朝食を毎日食べていますか」「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」それぞれに対して、肯定的な回答をする児童の割合及び校内調査（保護者）を令和 7 年度調査において <u>90%以上</u>にする。 (R4 学力調査 朝食 96.6% 就寝 75.1%、起床 96.6%) R4～5 校内調査（保護者―） (R6 学力調査 朝食 95.7% 就寝 87%、起床 93.5%) R7 校内調査（保護者）新設</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 本年度の校内調査（保護者）の「家庭では早寝 早起き 朝ごはんの習慣が身につくように努めている」に対して、肯定的に回答する保護者の割合を <u>90%以上</u>にする。 (R7 校内調査（保護者）新設)</p> <p>② 本年度の校内調査（児童）の「手洗い・うがいをしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>85%以上</u>にする。 (R7 校内調査（保護者）新設)</p> <p>③ 本年度の校内調査（児童）の「苦手なものでも食べるようにしている」に対して、肯定的に回答する児童の割合を <u>85%以上</u>にする。 (R7 校内調査（保護者）新設)</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 子どもの「手洗い・うがい」「早寝・早起き」「朝ごはん」についての意識を高める。</p> <hr/> <p>指標 ・年に 3 回、チェックシートを活用した健康週間を実施する。 ・定期検診時等における養護教諭による保健指導を年間各学級 1 回以上行う。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 保護者の「手洗い・うがい」「早寝・早起き」「朝ごはん」についての意識を高める。</p> <hr/> <p>指標 ・保健だよりを活用した保健指導を月 1 回実施する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 食育を充実し、食と健康についての意識を向上させる。</p> <hr/> <p>指標 ・給食だよりを活用した給食指導を月 1 回実施する。</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向 5 健やかな体の育成】 体育指導を充実し、運動と健康についての意識を向上させる。</p> <hr/> <p>指標 ・昨年度と比べ体育的行事の内容を 2 点以上改善する。 ・運動場、体育館の体育倉庫の整備を年間 3 回以上行う。 ・児童の運動に対する関心を高めるため、「新体力テスト」「長なわ週間」「かけ足チャレンジ」を実施する。</p>	

年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析

大阪市立中津小学校 令和7年度 運営に関する計画・自己評価（目標別シート）

評価基準 A：目標を上回って達成した B：目標どおりに達成した
C：取り組んだが目標を達成できなかった D：ほとんど取り組めず目標も達成できなかった

【学びを支える教育環境の充実】 年度目標	達成 状況
<p>大阪市教育振興基本計画に掲げる目標（施策目標）を達成するための年度目標</p> <p>○ 授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。</p> <p>○ ゆとりの日を週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は5日以上、冬季休業期間中は3日以上設定する。</p> <p>学校の年度目標</p> <p>① 令和7年度末の校内調査において、「読書がすき」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。</p> <p style="text-align: right;">(R4 81% R6 86%)</p>	
<p>年度目標の達成に向けた取組内容、取組の進捗状況を測る指標</p>	進 捗 状況
<p>取組内容①【基本的な方向6 教育DX(デジタルトランスフォーメーション)の推進】 学習者用端末、大型モニターなどのICT機器を活用した指導を工夫し実践する。</p> <hr/> <p>指標 ・大型モニターなどのICT機器を活用した授業を週2回以上設定した学級を80%以上にする。 ・授業日において、児童の8割以上が学習者用端末を活用した日数が、年間授業日の50%以上にする。</p>	
<p>取組内容②【基本的な方向7 人材の確保・育成としなやかな組織づくり】 ゆとりの日や学校閉庁日の設定、学校行事実施時間の短縮等により、働き方改革を推進する。</p> <hr/> <p>指標 ・ゆとりの日を週1回設定する。学校閉庁日については、夏季休業期間中は5日以上、冬季休業期間中は3日以上設定する。</p>	
<p>取組内容③【基本的な方向8 生涯学習の支援】 朝の読書タイム・国語での「本は友達」の取り扱いや図書の時間の読書指導、学校司書と連携した学校図書館の運営などを工夫して、読書への関心を高める。</p> <hr/> <p>指標 ・本年度の校内調査（児童）の「読書がすき」に対して、肯定的に回答する児童の割合を87%以上にする。 (R6 校内調査 86%)</p>	
<p>取組内容④【基本的な方向9 家庭・地域等と連携・協働した教育の推進】 ・保護者・地域等への情報発信、保護者・地域等と連携した行事や授業を工夫する。</p> <hr/> <p>指標 ・PTAと連携し、メール通信のシステムを導入する。 ・昔あそび、防災訓練など地域の方をゲストティーチャーとした授業など地域と連携した行事や授業を年間1回以上実施する。</p>	
<p>年度目標の達成状況や取組の進捗状況の結果と分析</p>	

